

下は操作方法を解説した[パタピッスタイル magazine](#) です。
参考にご覧ください。

パタピッ 入門ソフト で引くシャネルジャケット

パタピッ 入門ソフトで流行のジャケットを引いてみましょう。

このデザインは、[2009.12.24 のブログ](#)で**プロパタピッ**ソフトを使用して引く方法をご紹介しましたが、今回は**パタピッ 入門ソフト**で引く方法を解説します。

プロパタピッと同等ではありませんので、体型的な補正が生じる場合は、仮縫いを通して補正をしていただくなど慎重に製作していただければ、とても素敵なジャケットができ上がります。
パタピッ 入門ソフトを様々な楽しむヒントにしてください。

季節は春です。一枚で着用するジャケットとして解説します。
中にセーターなどを着てその上に着用する場合は、下の入力数値では窮屈です。
その引き方については、**プロパタピッ**ソフトのページで解説しましたのでそちらを参考にご覧ください。

また、**パタピッ 入門ソフト**の袖は一枚袖です。二枚袖ではありません。ジャケットの場合は二枚袖がやはりきれいで、商品価値としては高いのですが、このデザインは幸い袖丈が短いので、一枚袖でも形はきれいに仕上がりますので今回は一枚袖で作成しましょう。
二枚袖ソフトを持っているユーザーは、やはり双方の比較では二枚袖の方が高級感が出ますので二枚袖ソフトを組み合わせ使用してください

身頃は [2009.12.24 のブログ](#)では「**パネル切り替え**」ソフトを使用した製図ですが、**パタピッ 入門ソフト**は**ウエスト** **ダーツ**のソフトです。ダーツとは言えラインはきれいです。洋裁の初心者にはダーツの方が作り易いでしょう。

パタピッ 入門ソフトも**プロパタピッ**同様 子供サイズから大人サイズまで幅広く対応しますので、**入学式**等では親子ペアも素敵ですね。

この他にも**パタピッ 入門ソフト**で引くことができるたくさんのデザインを紹介しています。
インターネットの[パタピッスタイル magazine](#) を参考にご覧ください。

使用ソフト

パタピッ 入門ソフト

サイズ入力

参考として、S、M、Lの入力数値を表にしましたが、一人一人の体型に合わせた製図を作成する場合は、採寸寸法を入力してください。着心地が良く格好の良い製図ができ上がります。
体型的に特徴のある方は、仮縫いをする等で慎重に作成してください。
パタピッ 入門ソフトの操作は、下の様に簡単ですが、**プロパタピッ**ソフトをもつユーザーは、補正についてはやはり**プロパタピッ**を使用して作成してください。体型をカバーする正しい製図が得られます。

ボタン合わせはありません。その為、「**前合わせ寸法**」は「0」です。



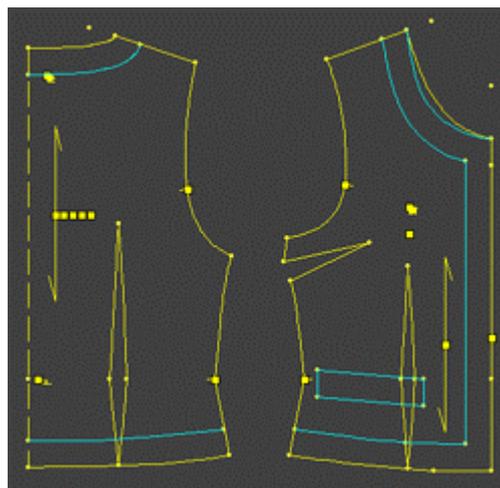
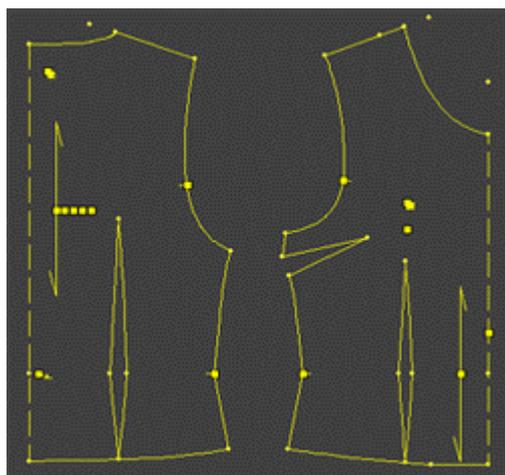
入力項目	あなたのサイズ	Sサイズの例	Mサイズの例	Lサイズの例
バスト	採寸寸法+2	78	84	96
背丈	採寸寸法	36	38	39
背肩幅	採寸寸法	36	38	40
上着丈	背丈×1.26	45.5	48	49
ヒップ	3/4ヒップ採寸寸法+2	80	84	96
前合わせ持出	0	0	0	0
アームホール増減	-1	-1	-1	-1
Wしまり調節	13	13	13	13
Bダーツ有無	0	0	0	0
肩ネックP移動	-3	-3	-3	-3
前ネックP移動	-6	-6	-6	-6
後ネックP移動	0	0	0	0
アームホール移動	0	0	0	0

実行ボタンを押すと下左の製図が画面に現れます。

前ネックラインのカーブの丸みを変えてみました。元のカーブ(黄色線)より、イラストのデザインのカーブの方が丸みがありますので、新たにカーブを引き直して修正します。青色線で区別しました。(右製図)

3cm幅の縁取りをして仕上げます。(右製図)

ポケットは、**パタピッ入門**ソフトでは自動機能が付いていませんので、印刷後に手書きで引きましょう。ウエストの辺りに3cm幅で12~13cm程のポケットラインを引きます。裾線に対して平行に引きましょう。



入力項目	あなたのサイズ	Sサイズの例	Mサイズの例	Lサイズの例
袖丈	採寸袖丈×0.74	37.5	39	40.5
袖山	後身頃アームホール の高さ×約0.7	後身頃アームホール の高さ×約0.7	後身頃アームホール の高さ×約0.7	後身頃アームホール の高さ×約0.7
前AH	計測数値	計測数値	計測数値	計測数値
後AH	計測数値	計測数値	計測数値	計測数値
袖口寸法	右SML参照	26.5	27	28.5
身長	着用者の身長	155	160	162

< 袖の操作 >

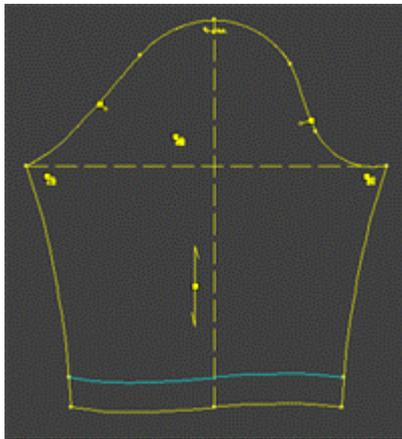
実行ボタンを押すと下の製図が画面に現れます。

袖口に3cm幅の縁取りをして仕上げます。(縁取りラインを青色で表しました)

個人の体型に合わせて操作する場合は、でき上がりの袖幅の確認をして仕上げましょう。

このデザインの袖幅は、Sサイズで約33cm、M 36cm、L 39cmの仕上げです。

袖幅をより細く(又は太く)したい場合は、袖山を増減することで袖幅は変化しますので、数値変更をして着心地の良い太さに調節しましょう。



以上で製図はでき上がりです！